

2. 「21世紀COEプログラム」

—世界的研究教育拠点の形成のための重点的支援—

平成18年度 予定額 378億円
(平成17年度 予算額 382億円)

第三者評価による競争原理の導入により、国公私立大学を通じ、優れた研究教育拠点に重点支援を行い、世界最高水準の大学づくりを推進する。

○経緯：

- 大学の構造改革の方針(平成13年6月)—
- ☆ 国立大学の再編・統合
- ☆ 国立大学の法人化
- ☆ 第三者評価による競争原理の導入
⇒平成14年度より
「21世紀COEプログラム」の創設

○実績：

・事業の概要

審査：省外の「21世紀COEプログラム委員会」が公平・公正な第三者評価を実施
対象：各大学の全学的な観点からの拠点形成計画
期間：5年間(2年経過後に、中間評価を実施)

・採択状況 (：93大学274件)

14年度 公募	【生命科学】、【化学、材料化学】、【情報、電気、電子】、 【人文科学】、【学際、複合、新領域】	(実績) ・申請163大学464件 ・採択 50大学113件
15年度 公募	【医学系】、【数学、物理学、地球科学】、【機械、土木、建築、 その他工学】、【社会科学】、【学際、複合、新領域】	(実績) ・申請225大学611件 ・採択 56大学133件
16年度 公募	【革新的な学術分野】	(実績) ・申請186大学320件 ・採択 24大学 28件

《期待される効果》

- 国公私立大学を通じた競争的環境の醸成
- 世界トップレベルの大学と伍する教育研究活動の活性化
- 我が国の研究水準の向上
- 学長を中心とした全学的観点からの大学づくり など

引続き積極的な推進

○平成18年度の計画：

- **研究教育拠点の着実な形成**
(拠点形成の充実強化のため、中間評価を経た平成14、15年度採択拠点に間接経費を措置)
- **平成16年度採択の研究教育拠点に対する中間評価の実施**

※本プログラムは、大学関係者、産業界等から、大学全体の活性化に極めて有効との評価